

富士見町の借金って どんなものがあるの？

町債(借金)とは……町が多額の資金を必要とする事業を行うときに、国の承認を得て行う借金です。この借金の返済に対しては、国から一定の割合(0～100%)で交付税が支援されるため、富士見町では学校、保育園、道路などの建設に、積極的に活用してきました。しかし、借り過ぎは将来の負担増になるので、議会では慎重にチェックしています。

平成20年 町の財政

決算議会はすでに決定した予算が正しく執行された
そして、その結果は、後年度の予算を作るときに生か
町の財政の実態を皆さんにお知らせして、理解を得る
今回は、富士見町の財政状況を貯金(基金)や借金
ます。

万円未満四捨五入

一般公共事業債	臨時的に多額の費用を必要とし、その効果が将来の住民生活に貢献する事業で、国からの財政支援が多いものです。	3億2,873万円
公営住宅建設事業	国の補助を受けて行う公営住宅建設事業や関連する事業を対象としたものです。(当町では富里公営住宅が対象)	1億2,498万円
災害復旧事業債	災害の復旧や被災者の援護に要する多額の費用の確保のため、財政上の応急措置として認められたものです。	230万円
教育・福祉施設等整備事業債	公立の小・中学校、社会福祉施設、一般廃棄物処理施設等の整備が対象となります。	8億9,653万円
一般単独事業債	他の事業項目で措置されない事業が対象です。(役場庁舎・消防庁舎等)	14億7,566万円
臨時財政対策債	臨時的に多額の経費を要し、その効果が将来の住民生活に貢献する事業で、国からの財政支援が多いものです。	17億8,856万円
このほか、「厚生福祉施設整備事業債」「国の予算貸付・政府関係機関貸付債」「減税補てん債」等の町債(借金)があります。		
町債一般会計合計		54億8,041万円

特別会計の状況

		町 債	基 金
国民健康保険特別会計		_____	1億8,036万円
老人保健特別会計		_____	_____
有線放送電話特別会計		_____	3億9,836万円
観光施設貸付事業特別会計		19億8,295万円	3,697万円
後期高齢者医療特別会計		_____	_____
富士見財産区特別会計		_____	1億9,565万円
企業会計	水道事業会計	16億1,740万円	(積立金) 4億6,545万円
	下水道事業会計	115億3,707万円	(積立金) 3億9,609万円

- ・町債額の大変に大きいものもありますが、皆さんが家を買うときにローンを組むように、毎年、計画的に返済しています。また下水道会計では、国からの交付税で全体の約45%が支援されています。
- ・パノラマの施設を買い取るために設けた観光施設貸付事業特別会計の約20億円が町にとって大きな課題です。